



台風19号災害復興支援

2019年12月16日(月)～17日(火) 長野県長野市 妙笑寺



昨年も東海から東北にかけての広い地域で、台風と大雨による甚大な被害がありました。当会では曹洞宗長野県第一宗務所の要請を受け、復興支援に行っていました。

妙笑寺は千曲川の決壊箇所から直線距離で約200メートルという至近距離にあります。被災から2か月が過ぎていましたが、周辺の住宅の状況から被害の大きさが伺い知れました。その状態は正に「惨状」と表現するにふさわしい状態で、胸が締め付けられる思いでした。改めて、被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

さて、今回は長野県と隣接県の会員にお声がけし、長野県支部会員も含め2日間で延べ46名にお力添えをいただきました。中には地元の組合員さんで、当会の会員ではない方も含まれていました。趣旨に賛同してご参加いただいたその方々には感謝に堪えません。初日は天候に恵まれましたが2日目は朝から冷たい雨が降りました。しかしそれでも、12月の長野市としては比較的穏やかな気候で、当初の目的——お施主さまが安心して、安全にお参りできる状態を作るとともに、地元の石材店が作業をする際の障害を取り除く——を果たすことができました。

作業をしていて、感動したことが2つあります。一つはご参加いただいた皆さんの献身。もう一つは真新しい花が供えられていた仏石のないお墓がいくつもあったことです。また、16日の報道を見てわざわざお礼を言いに来てくださった方が何組もありました。ご住職にお聞きしたところ、「仕事を休んで手伝いに行く」とお電話をしてこられた方もいらっしゃったとのこと。今回のように尋常ではない辛いことがあったときに、お墓は心のよりどころとなっているということを感じた今回の支援でした。

結びに、今回の支援にご参加いただいたみなさまに感謝を申し上げますと共に、現地の一日も早い復旧・復興を心から祈念いたします。[災害対策本部長 射場一之]

このたびは、近隣県のみなさまには、年末のお忙しい中、ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。妙笑寺はじめ、檀信徒の方々にも喜んでいただくことができ、協力でできてよかったと私自身、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。石屋同士が協力し合い、復旧のために一心に頑張る、熱気あふれる2日間すごかったです。お疲れさまでした。ありがとうございました。[長野県支部長 西山正起]



中国・四国地区 全体会議 in 広島

2019年11月21日(木)

広島県広島市 ホテルニューヒロデン

広島県は2018年7月に起きた西日本豪雨災害のため、1年順延し行いましたが、諸々問題もありながら、無事に当日を迎えることができました。

全体会議では「広島の土砂災害から学ぶ 転ばぬ先の知恵～杖～」というテーマで昨年の豪雨災害で被災経験を持ち、墓地の復旧にも携わった山野秀子氏を講師としてお迎えし、経験談をお話いただきました。質疑応答を通し、石材店の対応の仕方など改善点を知ることができたと思います。その後、ディスカッションでは西日本豪雨災害で工場などを失った広島県支部会員の金子石材店 金子氏より、当時の様子や実体験などパネルを使ってお話いただきました。全体会議では答えは出さずとも自問自答する良い機会になったと思います。

翌日のエクスカーションでは宮島巡りツアーで安芸の宮島を満喫していただけたのではないのでしょうか。

このたびは、全国からたくさんの方にご参加いただき、交流・意見交換をしながら親睦が深められました。

[中国地区長 藤井和幸]



九州・沖縄地区 全体会議 in 鹿児島

2019年11月27日(水)

鹿児島県鹿児島市 アクアガーデンホテル福丸

まず、驚いたのは参加者数が予定(予想)を超えたことでした。参加された方々へ感謝いたします。

各支部の報告では、活動内容やまとまりが理解されました。講演会は、天台宗の南泉院住職 宮下亮善氏を講師に招き、鹿児島の廃仏毀釈についての話を聞きました。噂通りの迫力とテンポの速い喋りに聴講者は釘付けで、途中で司会者が休憩を申し出る程の勢いでした。おかげさまで、鹿児島の歴史・鹿児島県人の郷土愛・郷土出身偉人愛が良くわかりました。

翌日の研修会では、鹿児島の石造物を見て廻りました。石橋造りの大変さ、鹿児島独特の工法等、新しい発見がありました。次に、西郷隆盛さんのお墓へ行くと常に誰かがお参りに来ているようで、地元の人たちは西郷さんを敬愛しているのだなと感心しました。

移動が小型バスに満車でしたのでバスの中でも大いに交流し、大変盛り上がり、2日共にとても有意義な会議・講演会・研修会となりました。[九州・沖縄地区長 玉田智久]



京都新聞企画事業(株)主催

第5回「セカンドライフ&終活フェア2019」に出展

全国お墓なんでも相談室 in 京都

2019年11月10日(日)

京都市役所前地下「ゼスト御池」

恒例のイベント出展で、「秋分の日はお墓参りの日」の啓発、「お墓ディレクター」の認知向上など、当会の活動PRを兼ね、「お墓や供養にまつわるさまざまなギモンについて」相談いただくべく、開催しました。相談コーナーも定着しつつあるのか、当ブースへの相談目的でご来場する方も多数おられ、途切れる間もありませんでした。相談内容としては、後継問題、多様化する供養形態について、改葬や移転などが中心です。中でも多様化する供養形態の長所や短所といった内容認知度はまだまだ低く、メディアでは伝えきれてない部分について、その人に合った方法を我々の立場できちんと伝えて、訴えて行くために、京都府支部では、可能な限り継続してこの事業を推進したいと考えています。

[京都府支部長 山本健介]



奈良県支部の活動

「秋分の日はお墓参りの日」普及 県下一斉 ポケットティッシュ配り

2019年9月1日(日) 奈良県全域

「秋分の日」は法律で定められた、お墓参りをするための祝日であることを広く告知し再認識していただくことを目的に奈良県下でキャンペーンを開催しました。

告知用に画像を用いたポケットティッシュを作成して、奈良県支部会員26社に100個ずつ送付。使用法は、最寄り駅やショッピングセンターでの配布、知り合いのお花屋さんやお店に置いてもらう、自社の販促品としてお客さまにお渡しするなど、工夫を凝らして活用していただきました。

また、会員有志による主要駅でのポケットティッシュ配りを実施し、乗降客に「秋分の日はお墓参りの日です」と叫び声を上げながら配布したことが奈良新聞に取り上げられ、掲載されました。この活動を通し、石産協会員であることの自覚が強まりました。

[奈良県支部長 木村好廣]





山岡弘之さん 富山県 山岡石材店(株)

根っからの石屋であり続けたい

私は25年前に石の世界に入りました。やるからには石の世界を深く知りたいと思い、道具焼きから始まり、石積み、加工、施工、採掘と、現場主義で経験を積み上げてきました。特に採掘現場では危険な場面に何度も直面しましたが、今となってはこの経験が石を大切に扱う心を育ててくれたと思います。これからもこの技術と経験を活かし、本物の石屋として、時代に合わせたより良い素材と品質の追求、そして更なるサービスの向上を目指してお客さまに安心と喜びを提供できる石材店であり続けたいと思っています。

この想いを夢のバトンに託して、出来るだけ多くの人に手渡したい。

わたしの夢



田辺聡志さん 新潟県 田辺石材店

次世代に石材とその仕事の魅力を発信する

5年ほど前から県の依頼を受け、小中学校に講師として職業体験の授業をさせていただいております。そこで深く感じていることは、子どもたちや担当の先生方も石のことや石材店の業務についてほとんど知らないという現状です。授業では子どもたちに石を磨く体験をしてもらうのですが、最後は先生方も「やってみよう」と興味を示すほどです。今後も一般の方に石材加工の仕事をもっと知っていただけるような活動を続けていき、次の世代が「石屋になりたい」と思えるような基盤を少しずつでも構築していきたいと思っています。そして私自身も魅力ある作品や仕事の一つでも多く残すことで、石材を使うことの意味や素晴らしさを発信することが私の夢であり目標です。

女性ネットワーク委員会

跡取り娘支援プロジェクト開催

2019年11月29日(金)

千葉県松戸市 石匠あづま家にて

■スケジュール

講演:はじめてのWEB入門(コトリンク代表 原 瑞恵 氏)

講演:「墓詣で」って何? (株)生田化研社 代表取締役 大塚俊明 氏)

八柱霊園内の石材店と広大な八柱霊園見学

■参加者の声

同じ石材業界に生きる先輩方との貴重な時間をいただきました。人生の先輩でもあるみなさんのお話を聞き、石材女子としてまだまだやれることがあると気づきました。みなさんが言っていた「石屋はサービス業」という言葉が、深く心に刺さり、帰り道に色々なアイデアが浮かんできました。

石屋だからこそ明るく!女子だからこそ元気に!もっとお客さまに必要とされる会社にしていきたいと思っています。ありがとうございました。[栃木県(株)新日本石匠 館野永恵]



輸入卸商部会

日中墓石交流会

2019年11月11日(日) 中国 福建省 崇武鎮

毎年恒例開催ですが、たくさんの方に興味を持って参加してもらいたいと考え、新たな気持ちで臨めるよう、あわせて見学会を企画しました。まず、11月9日・10日は、福建省内では数少ない来年以降も採掘を許可された、龍岩市洪山村の永定紅(G696)の丁場と工業区を見学しました。また、付近には、客家(ハッカ)独自の集合住宅である土楼の故郷として有名な世界遺産「永定客家土楼」があります。もともと黄河流域に住んでいた漢民族が、3世紀、異民族の侵入に追われ南下し、安住のために築き上げた要塞のような城壁に囲まれた建築物です。現在でも伝統的な生活スタイルを貫く人々の生活空間を見学しました。

当日の交流会では、最近問題になっている中国国内の環境保護活動についての詳細な報告を中国側からいただき、その後、自由討論を行い、双方の友好を再確認しました。来年はもっと内容のある交流会になるよう、今後も部会の継続課題として、意見を出しあい準備していきます。[輸入卸商部会長 吉川信貴]



新入会員紹介

会員数:1,174名
(2019.12.5現在)

山梨県

墓石リサイクルセンター(株)

会員代表:坂本光春

設立:平成26年5月

業種:関連

兵庫県

石商半田屋商会

会員代表:半田幸寛

設立:平成31年1月

業種:建築・輸入

長崎県

公益社団法人西部霊苑

会員代表:本村秀昭

設立:昭和51年1月

業種:墓石・建築・関連

お墓
ディレクター
NEWS

第12回お墓ディレクター1級取得者 限定セミナー開催

日時:2020年2月14日(金)
場所:エッサム神田2-B01

今年の8月、テレビで発信された「お墓に水はかけてはいけない」という情報に対して、そんなことはないから、水をかけてお墓をキレイにしてあげて」と自身のツイッターで発信した葬儀屋のおじさんがいました。大きな影響力を持つ発信者から出された理不尽な情報に対して、理にかなった言葉を返した一人のそのツイートは、たくさんの方にリツイートされ、最終的に14万人以上の方から、「いいね!👍」が押されました。創業90年、社員数5人の葬儀屋さんの社長が行っている、プロの見識からモヤっとした事柄をスパッと解説する情報発信活動から、それに関するノウハウはもちろんのこと、死者の尊厳への配慮や遺族の心情に対する思い遣りなど生きていく上で大事なことが学べるこの機会。第12回お墓ディレクター1級取得者限定セミナーに是非ご参加ください!! ※ご案内は1級取得者の方にお送りしています(12/24発送)



講師:佐藤信顕氏(登録者7万人日本一の葬儀系YouTube)

テーマ:価値を生む、これからの、情報発信

第一部 葬祭系YouTuberに聞け! これからの“人が集まる”情報発信

第二部 教えて!佐藤さん。“もうかる”情報発信

「墓石に関する消費者調査」 成果普及講習会のご案内

大阪:2020年2月6日(木) 新大阪丸ビル新館506
東京:2020年2月12日(水) 情報オアシス神田8

2019年度中小企業組合等課題対応支援事業(中小企業組合等活路開拓事業)として、補助金を申請しました。現代の消費者を取り巻く墓地・墓石・様々な新しいお墓、新しい葬送、墓じまい等の実態を明らかにするためのアンケート調査です。今回は新たな取り組みとして、介護の現場へ赴き、利用者、介護士からもヒアリング調査を行い、福祉従事者等の観点からお墓の意義と必要性を明らかにすることを目的としました。全会員の協力により、現代のお墓、終末期の消費者の不安や要望など、貴重な意見が集約されたアンケート結果になりました。現在、委員メンバーのレポートをまとめ、成果普及講習会に向け、準備を行っています。石材業に携わる我々にとって、有効な情報共有の講習会となりますのでぜひ、ご参加ください。[墓石部会 社会調査委員会]

北海道地区全体会議 in 札幌

2020年2月25日(火) 東急REIホテル 札幌

第一部セミナー「終活の事業化を考える」川端秀明氏(すまいるくらぶ代表) / 第二部セミナー「これからの石材店を考える」佐野雅基(当会墓石部会長)

今回のテーマは、業界がおかれている今の厳しい時代の中、このままずっと耐え忍ぶのか、それとも攻めていくか。2名の講師をお招きし、我々の立ち位置を考えます。現場仕事ができない、雪の季節にじっくり考える時間を地区全体会議で共有します。

関連部会

ストーンアシスト2020 in IWATE

2020年2月26日(水) 岩手県民会館

「ストーンアシスト会場にわんこそば大会がやってくる!!」フードファイターを目指している人も、どんなもんか一度経験してみたかった人も蕎麦ツウな人も、あなたのペースでじゃんじゃんどん。たくさんの参加を待っています! もちろん応援も大歓迎!!



©わんこそばやうだい

石屋ならではのLINEスタンプ

ishiku
石工男子
49Dc

他にも“使える”LINE
スタンプが計40種!



事業案内 2020年1月~3月

ホームページにカレンダーが掲載されています。

- ▶ 1月16日(木)・東京都千代田区
第6回正副会長会議(予算編成委員会)
- ▶ 1月22日(水)・全国5会場
第16回お墓ディレクター検定試験
- ▶ 2月13日(木)・東京都千代田区
第3回理事会
- ▶ 2月25日(火)・北海道札幌市
北海道地区全体会議
- ▶ 3月12日(木)・東京都千代田区
第7回正副会長会議

部会・委員会活動 2020年1月~3月

- ▶ 1月16日(木)・東京都千代田区
公正競争規約推進委員会
- ▶ 1月21日(火)・東京都千代田区
関連部会
- ▶ 1月23日(木)・東京都千代田区
お墓ディレクター委員会
- ▶ 1月23日(木)・大阪府大阪市
顧客満足推進委員会
- ▶ 1月24日(金)・広島県広島市
建築環境部会
- ▶ 2月5日(水)・東京都千代田区
女性ネットワーク委員会
- ▶ 2月6日(木)・大阪府大阪市
墓石部会 / 成果普及講習会
- ▶ 2月12日(水)・東京都千代田区
広報委員会 / 成果普及講習会
- ▶ 2月14日(金)・東京都千代田区
お墓ディレクター1級研修会
- ▶ 2月25日(火)・岩手県盛岡市
輸入卸部会
- ▶ 2月26日(水)・岩手県盛岡市
ストーンアシスト2020 in IWATE(関連部会)
- ▶ 3月5日(水)・東京都千代田区
女性ネットワーク委員会
- ▶ 3月11日(水)・東京都千代田区
顧客満足推進委員会

映画

「山中静雄氏の尊厳死」

主人公の山中氏は、余命1カ月を宣告されます。山中氏は、「やり残したことを成し遂げたい」と、生まれ故郷の病院で死を迎えようとしています。そのやり残したことのひとつが「自分のお墓作り」です。河原の石を集め、コンクリートで固めて自分ひとりでお墓を作ります。この映画では、このお墓作りを中心にストーリーが進展していきます。映画後半では、お墓が石である意味を明確に表現したシーンが登場します。石屋さんが絶対に見るべき映画です。キーワードは、「きざむ」と「つなぐ」です。2月上旬より全国順次ロードショー。

[広報委員会 上野國光]

石産協HP(会員ページ)
ログインID:groupjapan
パスワード:NkpOpX

石産協通信は
webでも閲覧できます。



石を愛するコミュニティ

一般社団法人
日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel:03-3251-7671 Fax:03-3251-7681
https://www.japan-stone.org/
企画・編集・発行:広報委員会

編集者:広報委員 青木秀敏

編集後記

地球温暖化が問題視され、世界規模で災害のニュースが後を絶ちません。P1の支援のように、当会の活動を通し、微力でも貢献ができればいいなと思います。